

令和元年度 地域懇談会 報告書

地域名	柏市西原地域ふるさと協議会
日時	令和元年10月9日（土）9時55分～11時25分
場所	西原近隣センター 会議室A
参加者	ふるさと協議会役員等 : 9名 地域づくり推進部長 : 1名 西原近隣センター所長 : 1名 社会福祉協議会職員 : 1名 地域支援課職員 : 6名 地域づくりコーディネーター : 3名      合計 : 21名
次第	別紙のとおり
意見交換	<p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西原地域は634世帯あり、役員は1年交代で輪番制であるが、「役員ができないので町会を辞めたい」という方がいる。新興住宅もあるが、なかなか若い方が町会に入っていないのでイベントや行事もどんどん少なくなってきており、一部分しかできなくなってきている。町会の活動を知らないで町会に入らないという悪循環になっている。町会運営をどうしたらいいかという思いがある。</li> </ul> <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この問題は永遠のテーマだと思う。高齢化も進み町会加入者も減ってきている。お互いの町会のやり方を共有して、良いところを取り入れたりしていくべき。新しく住宅地などができるところは町会に入るようにしてほしいという旨をハウスメーカーに働きかけている。</li> </ul> <p>柏市職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市全体の町会の3分の1は1年で会長が代わる。他町会では1年任期なので、自分が任期中にやらなくちゃいけないということで、ごみ問題に積極的に取り組んだ例がある。逆に1年だと何もできないということで役員任期を2年にした町会の例もある。逆に輪番制も悪くはないという意見もあった。</li> </ul> <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きで町会活動をやっている方はなかなかいない。やってみると</li> </ul>

楽しいというのがわかった。

ふるさと協議会役員

- ・伊勢原町会は輪番制で班体制として2年は携われるようになっている。会長は1年ではわからないので、最低でも3年は必要だと思う。後継者をしっかり育てていかないといけないと思う。

ふるさと協議会役員

- ・市への申請書が多いので、できるだけ申請書を減らしてほしい。防犯灯の管理も市でできないのか。ごみステーション問題について、今使っているところが土地所有者の相続の影響などで使えなくなるのではないかという不安がある。市で場所を設けてもらえないか。町会の負担を軽減してもらいたい。

ふるさと協議会役員

- ・防犯灯の件について、6年間パトロールしているが町会員でもその活動を知らない方が多い。最近は「ご苦労様」と少し感謝してもらえるようになってきた。30年前も一度町会長をやったことがあり、次に会長になる方がやりやすいようにしたいと思っている。新しくできた住宅で町会に入っていない世帯があり、3年前にできたときにアプローチしなかったせいか、15世帯中4世帯しか加入しておらず、時期を逸すると難しい。毎月のごみ当番は月に1回町内を清掃するようにしている。

ふるさと協議会役員

- ・4年前、東京大学柏の葉キャンパスの前に103軒の新しい戸建て住宅ができた際に、町会として受け入れ態勢が整っていなかったが受け入れることとした。103世帯が入居し、町会に加入しなかったのは3世帯のみで、事前の根回しが如何に大切かということを実感した。今少し心配なのは、高齢者世帯が増えてきたこともあり、役員やごみ当番の仕事が難しくなってきた。「活動できないので町会を辞めたい」という話もでてきている。

ふるさと協議会役員

- ・防犯灯について、市がリース事業を行う前に町会でLED灯に替えた防犯灯についてはどうするのか。

柏市職員

- ・現在のリース契約の満了後に再度リース契約を結ぶことができるか、市の所有として移管ができるかなど、前向きに検討しているところである。

ふるさと協議会役員

- ・プラス10補助金について、3年前に防災備品を揃えたいと申請した際に対象外となってしまう。この補助金はどういうものに使えるのか。

柏市職員

- ・プラス10補助金は地域の課題解決に対する活動のための補助金であり、ただ単に備品や倉庫を購入するものは対象にならない。

ふるさと協議会役員

- ・備品や倉庫も地域活動に必要なと思う。

ふるさと協議会役員

- ・来年度、西原ふるさと協議会として発電機を申請したいと思っている。

柏市職員

- ・プラス10補助金（地域活動支援補助金）はふるさと協議会や町会での新たな取り組みとして何かしらの「+αの活動」に対して対象となる補助金である。防犯防災、環境美化、コミュニティ促進に関するものが対象となる。

柏市職員

- ・もともとプラス10補助金が生まれた背景として、町会への一律の補助ではなく、新しいチャレンジやマンネリを打破することに対して補助するというのが発端である。

ふるさと協議会役員

- ・以前西原町会は、防災倉庫を購入した際はプラス10補助金の対象にならなかった。

	<p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(西原近隣センター体育館の駐車場について、別紙のとおり要望をご説明。)</li> </ul> <p>柏市職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題として把握はしている。財政面のハードルや他施設との優先順位もあるので今後検討していく。</li> </ul> <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車止めの高さを削るだけでも早めにやってほしい。</li> <li>・ラジオ体操等で西原第四町会はよく子どもを集めているので、子どもを集めるようなことをもっとできれば良いと思う。</li> </ul> <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏住宅自治会は会館を所有しておらず、会議場所がなく物事を決めにくいという現状がある。隣の町会の会館を有料で間借りしている状態。</li> </ul> <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館の駐車場の件は優先的にお願いしたい。</li> </ul> <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏ハイライズ自治会はマンションの自治会であり、階段があるので高齢化に伴いごみ出し問題が出てきている。プラス10補助金は今回初めて聞いた。今後、奥村会長の力になりたいと思う。</li> </ul>
<p>いただいたご意見のまとめ</p>	<p>主に次のような御意見をいただいた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の任期の話があった。1年任期だとなかなか活動の活性化が進まない、町会員の理解が進まないという悪循環の実情があるというお話を伺った。これに対しては最低3年はやらないと、というご意見もお伺いした。輪番制で地域の理解が深まるという紹介もさせていただいた。</li> <li>・会長の負担の問題について、いくつかご意見をいただいた。防犯灯や集積所の問題、町会に入っていないなくてもサービスを享受できるということについて、市はどう考えているのかというご意見をいただいた。</li> <li>・加入促進について、伊勢原町会の事例で、タイミングや調整、事</li> </ul>

前の根回しがとても大切であるというお話を伺った。

- プラス10補助金について、いくつかご質問をいただいた。新しい活動をしたいという町会に対しては、できるだけ支援していきたいという思いがあるので、お気軽に相談してもらえればと思う。
- 柏住宅自治会からはふるさと会館を所有していないというお話があった。中古住宅の取得や空き部屋を借りるなどの補助金のメニューを増やしたり、市では今の実情に合わせて補助金の見直しをしていきたいと考えているので、いろいろとご意見をお聞かせいただければと思う。
- 体育館駐車場整備のご要望をいただいた。これについては中でしっかり揉ませていただき、お返事させていただければと思う。